

患者さまと井上眼科病院をつなぐ、「眼」の情報ペーパー

井上眼科だより

— Inouye Eye Hospital News —

vol.114
2020 AUTUMN

特集

眼の健康チェック

- ・西葛西・井上眼科病院「網膜剥離」
- ・札幌・井上眼科クリニック 開院1周年記念講演



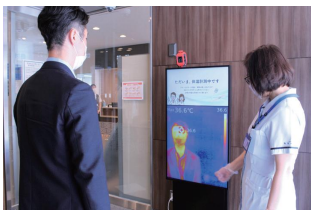
医療法人社団 済安堂

井上眼科病院グループ

INOUEYE EYE HOSPITAL GROUP

新型コロナウイルス感染対策 眼科としての取り組みについて

コロナ禍で新しい生活様式へと変化が進み、当院グループでもさまざまな取り組みを行っております。院内の感染防止対策として、マスク着用、消毒の徹底はもちろんのこと、サーモグラフィを導入した体温測定や待合の混雑緩和のため携帯電話の呼び出しサービスなども行っております。また患者さまに向けて定期的に行っていた「プレミアム白内障手術説明会」も感染防止に配慮し再開しました。眼の病気、特に私が専門としている緑内障は進行を防ぐため継続した治療が大切です。必要な治療が滞らないように、これからも当院グループでは患者さまに安心して受診していただける体制を職員一同で整えてまいります。



サーモグラフィによる検温



院内の消毒の徹底



井上眼科病院グループ 理事長
井上 賢治

白内障手術

井上眼科病院

徳田先生

井上眼科病院では超音波手術を主体に年間4,400件以上の白内障手術を行っています。通常の白内障手術に加えて、私が執刀しているのは「他の眼疾患を伴う白内障」「10歳以下の小児白内障」「全身の疾患に伴う白内障」などの特に手術がむずかしい症例です。眼疾患では白内障や緑内障などと角膜の病気が合併していることは珍しくありません。井上眼科病院には、それぞれの分野のエキスパートが在籍しており、疾患の範囲を超えて連携することでより良い治療の提供を行っています。

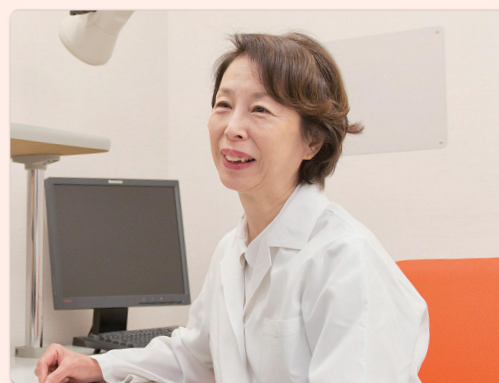
井上眼科病院 副院長
徳田 芳浩

1985年に広島大学を卒業後、1999年に井上眼科病院の副院長に就任。白内障手術の中心的役割を担っており、井上眼科病院で年間1,300件以上の手術を執刀している。



コロナ禍でのリモートワークや外出自粛など、自宅でスマホやパソコンを長時間にわたって使用する機会が増え、眼に負担がかかることでトラブルをうったえる方が多くいらっしゃいます。

10月10日は「目の愛護デー」です。現在、厚生労働省が主催となり、全国で眼の健康を促す活動をしています。これを機会にご自身の眼の状態をチェックしてみたいはいかがでしょうか？



お茶の水・井上眼科クリニック 院長
岡山 良子

スマホ・パソコンの長時間使用が原因の眼のトラブル

眼精疲労

休息や睡眠をとっても眼の不調が回復せず、肩こり、頭痛、吐き気などを引き起こします。



調節緊張

近くを見る作業を長時間続けていると、ピント調節を行う毛様体筋が常に緊張した状態になり、一時的に近視に類似した症状があらわれます。



ドライアイ

乾燥感だけでなく、異物感や眼の痛み、眼のかすみ、眼が赤くなる、涙が出るなど、あらゆる慢性的な眼の不快感を生じます。



これらの眼の不調の対策には・・・？

- ・1時間作業したら15分休む。
- ・窓の外の景色など遠くを見て目をリラックスさせる。
- ・ホットタオルなどで目を温め血流を良くする。
- ・コンタクトレンズやメガネの度数が合っているのか見直しをしてみる。



！ 白内障や緑内障などの“眼の病気”がひそんでいることも ！

自宅でできるセルフチェック

朝起きたら、同じ場所から同じものを片眼ずつ見て、視力が落ちていないか、ゆがんで見えないか、欠けて見えないところがないかを確認するとよいでしょう。カレンダーのように格子状になったものだと、ゆがみが分かりやすいです。

本来ならば眼科を受診して治療すべき症状が出ているにも関わらず、疲れ目が原因と自己判断したりコロナ禍で受診を躊躇して治療が遅れるケースがあります。少しでも気になることがあれば眼科を受診するようにしてください。



お茶の水・井上眼科クリニック ご予約・お問い合わせ

☎03-3295-0923

月～土 … 8:30～16:30

お茶の水 井上眼科

検索

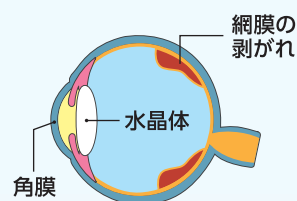
西葛西・井上眼科病院は井上眼科病院グループの中で網膜硝子体治療の中心的役割を担い年間1,000件以上の手術を行っています。その中でも「網膜剥離」は、緊急で手術を行うことが多く、手術後の安静や体位制限が必要となります。当院では、医師はもちろんのこと専門知識をもち経験豊富なスタッフが対応し、患者さまの不安や苦痛の緩和に努めています。入院に関してご心配なことがございましたら、お気軽にご相談ください。



西葛西・井上眼科病院 院長
井上 順治

網膜剥離

網膜はカメラのフィルムに当たるもので、視細胞と呼ばれる光を感知する細胞があり、映像を映し出す重要な働きがあります。通常は眼底にぴったり押しつけられている網膜が剥がれ、浮き上がった状態が網膜剥離です。



原因は？

「網膜裂孔^{れっこう}」といわれる網膜に孔^{あな}があいたり、裂けたりすることがきっかけで起こります。孔のあいた部分に液化した硝子体が入りこむことで、網膜が剥がれていきます。一部の病気や事故などで起こる場合もあります。

症状は？

さまざまな症状が現れますが、網膜裂孔で多いのは、黒い虫が飛んでいるように見える「飛蚊症^{ひぶんしょう}」です。また「光視症^{こうししょう}」といって眼を閉じても光を感じることがあります。網膜剥離で視野が欠けた場合は、その部分が黒くみえます。

治療方法と入院期間は？

網膜裂孔はレーザーで治療ができますが、網膜剥離の場合は手術が必要です。手術には「硝子体手術」や「強膜バックリング術」などがあり症状によって手術方法が異なります。通常は1週間程度の入院が必要です。

安心して
過ごして
いただける
入院環境



体位制限(うつぶせ)を
和らげる器具



照明の工夫など見えづらい方の
安全に配慮した病室



食事は月1回シーズンメニューを
ご用意(写真は7月の「七夕御膳」)

西葛西・井上眼科病院

TOPIC

藤本 隆志
副院長就任



藤本 隆志 (ふじもと たかゆき)

2008年にお茶の水の井上眼科病院に入局し、2016年より西葛西・井上眼科病院で一般眼科外来全般の診療を行っております。専門である網膜硝子体手術や白内障手術を主体に、緑内障手術、翼状片手術なども手掛け、お茶の水では網膜硝子体外来を担当しております。

的確な診断をもとに、患者さまの背景をふまえ、個々に合った治療法をご提供できればと考えています。

◎札幌・井上眼科クリニック

北海道では珍しく残暑が続き9月上旬まで30度を超える日が続いておりましたが、その後はすっかり冷え込み、今では薄手のコートが欠かせません。コロナ禍でも当院に足を運んでいただける患者さまも増えており、なるべく同じ時間帯に患者さまが集中しないよう予約を分散するなど細かいところから感染対策を行っております。緑内障や加齢黄斑変性は一度悪化すると元に戻らない病気です。我々は患者さまの眼の健康を維持したいと切に思っております。「薬が無くなってしまっている」、「何か月も検査をしていない」、という患者さまがいっぱいありましたら、安心してご来院いただければと思います。



札幌・井上眼科クリニック 院長
清水 恒輔

◇開院1周年記念講演を開催しました◇

当院は令和と共に開院し今年の5月に1周年を迎え、遅ればせながら9月5日(土)に記念講演を開催いたしました。

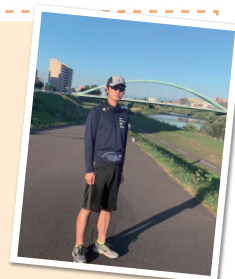
予定を上回る多数の皆さまにご参加いただけたため、待合室のモニターを通して聴講できるようにする等、密を避ける工夫を行い、井上理事長から「緑内障」、清水院長から白内障で用いる新しいレンズ「多焦点眼内レンズ」の講演をし、ご好評の声をいただきました。

今後も状況を考慮し、眼に関する情報を発信してまいります。



清水院長のコラム《健康管理》

冬季の運動不足に加え新型コロナウイルス感染症での自粛生活が続き、半年で体重が5kg増えてしまいました。もちろん現在でも必要最低限の外出しかしてありませんが、緊急事態宣言解除後の6月からは健康管理も必要と考え、週に2回河川敷でのジョギングを始めました。手始めに「メガネの井上」でスポーツ用のサングラスを購入し、院内に体重計を置き定期的に測定。今では元通りの体重に戻すことができました。皆さまも自粛は大事ですが、病院への通院も含めた健康管理にお気を付けください！



札幌・井上眼科クリニック
ご予約・お問い合わせ

☎011-200-3755

月～金…9:15～12:30/14:00～17:30 土…9:15～12:30

札幌 井上眼科

検索

INFORMATION お茶の水・井上眼科クリニック 新入局医師のご紹介



小松 真理 (こまつ まり)

白内障手術、屈折矯正手術に長年携わってきました。満足していただけの見え方を出来るだけ侵襲の小さい手術により実現したいと考えています。出身は長野県、趣味は、狂言・能・文楽の鑑賞、Paul Klee作品の追いかけて等です。



小西 蓉子 (こにし ろうこ)

東京女子医科大学病院に入局し、7月より当院へ出向となりました。出身は東京都、趣味はゴルフです。患者さま一人ひとりに寄り添った診療を心がけています。よろしくお願いいたします。

患者さまと井上眼科病院をつなぐ、「眼」の情報ペーパー

井上眼科だより

— Inouye Eye Hospital News —

vol.114
2020 AUTUMN



大宮・井上眼科クリニック

大宮・井上眼科クリニック 院長
野崎 令恵

大宮・井上眼科クリニックは幅広い眼疾患に対応する身近な眼科クリニックであると同時に、白内障や網膜硝子体の日帰り手術が可能な設備も整った施設で、年間600件以上の白内障手術を行っています。

眼に不調が続くと生活に不便を感じたり、不安になったりすることが多くなりますので、安心して受診していただけるように、患者さまの声に耳を傾け、不安な気持ちに寄り添った診療を心がけています。

手術はなるべく患者さまのご希望に沿ったスケジュールで行えるよう努めていますが、涼しい季節になると手術を希望する方が増える傾向にあるため、予約の混雑状況によってはご希望の日程で手術を行えない場合もあります。運転免許証の更新などを控えている方はお早めにご相談ください。

大宮・井上眼科クリニック
ご予約・お問い合わせ

☎048-871-8471

大宮 井上眼科 検索

月～土…8:45～12:00/13:30～17:00

発行:医療法人社団済安堂 井上眼科病院 www.inouye-eye.or.jp

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4丁目3番地 ☎03-3295-0911